

第 14 回西日本補助人工心臓研修セミナープログラム(仮) 2024 年 2 月 17 日土曜日

開会の辞 10:00-10:05

講演 1) 10:05-11:05

- 1 心臓移植の適応(適応基準、除外基準)、移植の現状
- 2 BTT における LVAD の適応基準、BTT の現状
- 3 DT の適応(適応基準、除外基準)、DT の現状

講演 2) 11:05~11:45

- 4 急性期の管理
- 5 慢性期の管理

ランチョンセミナー)12:00~12:45

講演 3) 12:45~14:30

- 0) DL 管理の実際(講演:消毒手技、固定方法、シャワー浴方法講義)15 分
- 6 各デバイスの VAD 装置の特徴・機能、装着適応、装着手技、成績
 - 1) NIPRO+Biofloat(20 分)
 - 2) EVAHEART(15 分)
 - 3) HeartMate II + 3 (20 分)
 - 4) Impella(15 分)
 - 5) Jarvik2000(10 分)
 - 6) HVAD(10 分)

実技講習) 14:30~17:00 (下記 2 つ以上に参加することで参加認定)

- 1.1.1 デバイスマックサーキュレーション
- 1.1.2 ウェットラボ
- 1.1.3 出口部管理

講演 4) 17:00~18:00

- 7 管理施設の立ち上げに向けて(何を準備すべきか、管理施設になったの苦労など)
 - 1) 院内体制整備
 - 2) 看護師の役割(創部管理、日常生活指導、緊急時対応、スタッフ教育)
 - 3) 臨床工学技士の役割(外来時点検、継続指導、緊急時対応、スタッフ教育)

閉会式

受講証配布

第4回西日本小児補助人工心臓 VAD セミナープログラム（仮）

13:00-13:00 開会の辞

13:10-14:00 講演1 小児心臓移植の適応・BTT(DT)について

講演2 Berlin Heart EXCOR について特徴・機能・装着適応・装着手技

14:15-15:45 実技講習(下記2つ以上に参加することで参加認定)

- 1) デバイスマックサーキュレーション
- 2) DL 出口部ケアの手技講習
- 3) ウェットラボ（デバイス装着手技）Berlin Heart EXCOR

15:45-16:45 講演3-1 小児補助循環総論

- 1) 小児急性機補助循環の選択とアプローチ 急性期 VAD 装着までの Bridge について
- 2) 拘束性障害を有する心筋症の補助循環の妥当性
- 3) 先天性心疾患に対する VAD(EXCOR)治療
- 4) 右心不全を併発する患者に対する LVAD 治療

15:45-16:45 講演3-2 小児補助循環の看護

- 1) ECMO 装着患者に対する看護のポイント
- 2) 移植待機期間中の患者家族へのニーズに応じて
- 3) 移植施設でない病院での EXCOR 装着患者の看護
- 4) リハビリ

16:50-17:00 閉会の辞

注：1：西日本補助人工心臓研修セミナーと西日本小児補助人工心臓 VAD セミナーを同時受講することはできません。

2：今年度よりセミナー修了の要件が厳格となり、デバイスマックサーキュレーション・ウェットラボ・出口部管理のうち2つ以上を受講していただかなければ修了証は発行できません。

3：大学の駐車場ご利用の方には駐車サービス券をお渡ししますのでお申し出ください（ただし、大阪大学および阪大医学部附属病院所属の方には発行できかねます。また患者様用の駐車場を使用するのはおやめください）。

4：事前申し込みの方以外は、当日中に修了証のお渡しができない場合がございます。

5：当セミナーでは地球環境に配慮した SDGs を推進しており、印刷の無駄をなくすため、受講証・抄録集・領収書等の各位における事前印刷をお願いしております。